



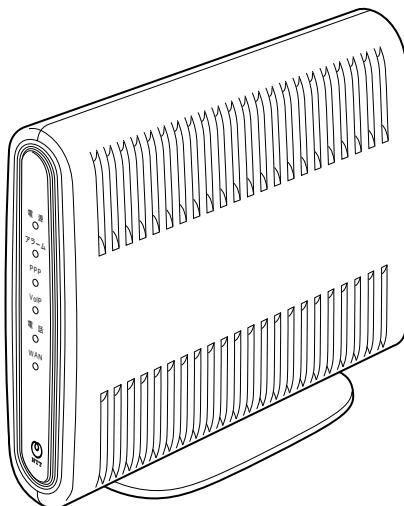
Web Caster V100

取扱説明書

このたびは、Web Caster V100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

IDとパスワードの取り扱いについて

ユーザーIDとパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

マニュアルの内容について

機能追加などにより本紙の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となつた場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品のTELポートは、加入電話の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

記載しているWebブラウザ、Telnet、ftpなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザ、Telnet、ftpなどの画面は予告なく変更される場合があります。Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe® Acrobat® Reader™はAdobe® Systems Incorporatedの商標です。

Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Mac OSは米国Apple Computer Inc.の登録商標または商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。

⚠️ 警告

電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。

テープルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。

お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災、感電の原因となることがあります。

底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

⚠ 注意

近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。

本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災、感電の原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

使いのとき

⚠ 注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

お手入れをするときは、安全のため必ず本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

半年に1回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを、取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからふきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

STOP お願い

製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファックス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき

STOP お願い

電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。

本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるのですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	9
マニュアル構成 / マニュアルの見かた	11
マニュアル構成	11
本書の見かた	11
電子マニュアルの見かた	12
Web Caster V100でできること	13
Web Caster V100とは	13
特長	13

1 最初に確認しましょう

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3
Web Caster V100	1-3

2 本商品の接続とパソコンの設定

セットアップする	2-2
回線を接続する	2-3
フレッツ・ADSLに接続する	2-3
Bフレッツ（光ファイバー）に接続する	2-5
電源を入れる（LEDランプの確認）	2-7
本商品の電源を入れたとき	2-7
パソコンの電源を入れたとき	2-7
パソコンを設定する	2-8
Windows® 98/Me/2000/XP共通の設定	2-8
パソコンを設定する（Windows® 98/Meの場合）	2-9
設定を確認する（Windows® 98/Meの場合）	2-12
パソコンを設定する（Windows® 2000の場合）	2-13
設定を確認する（Windows® 2000の場合）	2-15
パソコンを設定する（Windows® XPの場合）	2-16
設定を確認する（Windows® XPの場合）	2-19
パソコンを設定する（Mac OS 9.0.4以降の場合）	2-20
設定を確認する（Mac OS 9.0.4以降の場合）	2-23
パソコンを設定する（Mac OS Xの場合）	2-24
設定を確認する（Mac OS Xの場合）	2-27

目 次

3 本商品の設定方法

かんたん設定	3-2
Web ブラウザの起動	3-2
インターネット接続の確認	3-4
Windows® の場合 (98/Me/2000/XP 共通)	3-4
Mac OS の場合 (9.0.4 以降 /X 共通)	3-4
IP電話の設定	3-5

4 電話の使いかた

電話をかけるには (発信)	4-2
電話をかける (発信)	4-2
相手がお話し中のとき	4-2
電話を受けるには (着信)	4-3
電話を受ける (着信)	4-3
回線選択について / 緊急ダイヤル	4-4
電話番号による回線選択	4-4
加入電話回線を選択して発信するには	4-4
緊急ダイヤル (110 / 118 / 119) 発信時の留意事項	4-4
お話し中にかかってきた電話を受けるには	4-5
お話し中にかかってきた電話に出る	4-5
発信者番号の通知と表示	4-6
一般回線からの電話番号も表示するには (ナンバー・ディスプレイ)	4-7
ナンバー・ディスプレイを設定する	4-7

5 お困りのときには

トラブルシューティング	5-2
設定に関するトラブル	5-2
通話 / ダイヤルに関するトラブル	5-2
パソコンに関するトラブル	5-3
その他のトラブル	5-3

6 付録

仕様	6-2
Web Caster V100	6-2
本商品を扱ううえでの注意事項	6-3
NTTネットワークサービスへの対応について	6-3
加入電話回線を選択する電話番号	6-4
その他の注意事項	6-4
本商品の初期化	6-5
索引	6-6
お買い上げ商品の保証および保守サービスのご案内	6-7

マニュアル構成 / マニュアルの見かた

本商品のマニュアル構成とマニュアルの見かたについて説明します。

マニュアル構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。
ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）
Web Caster V100の基本機能についての説明書です。

詳細取扱説明書（CD-ROM：PDFファイル）
本書には記載されていない、Web Caster V100のより詳細な機能について解説しています。

CD-ROMの操作方法について（☞本書P12「電子マニュアルの見かた」）

本書の見かた

本書は下記のように構成されています。

1. 最初に確認しましょう

最初に必ずお読みください。



2. 本商品の接続とパソコンの設定

本商品の接続を行い、パソコンをネットワークに接続するための設定を行います。



3. 本商品の設定方法

「かんたん設定」にアクセスして、インターネットに接続するための設定とIP電話の登録を行います。



4. 電話の使いかた

本商品と接続した電話機の使用方法を説明します。

IP電話をご利用になる際には、お客様がご契約されているプロバイダ（ISP）から提供されたマニュアルをご参照ください。

マニュアル構成 / マニュアルの見かた

電子マニュアルの見かた

本商品のより詳細な機能については、付属の「Web Caster V100専用CD-ROM」に収録されている電子マニュアル「詳細取扱説明書」をご覧ください。

- 1** パソコンを起動し、添付のCD-ROM「Web Caster V100専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2** 「詳細取扱説明書.pdf」をクリックする



お知らせ

AcrobatReaderをインストールされていない方、「詳細取扱説明書」の内容が正常に表示できない方は AcrobatReader5.0をインストールしてください。

: 添付のCD-ROM「Web Caster V100専用CD-ROM」：Acrobat_505アイコン内の実行ファイルをクリックしてください。

Web Caster V100でできること

本商品の特長などについて説明します。

Web Caster V100とは

本商品は、ルータ、IP電話機能を内蔵しています。ADSLモデム/回線終端装置につなぐことで複数のパソコンでインターネット接続できると共に、IP電話網を介してIP電話を利用することもできます。

特長

IP電話サービスが利用できます

IP電話網を介して、電話、ファクスの通信が可能です。ファクスは、G.711インバンドで実現しました。

フレッツ・ADSL、Bフレッツに対応

PPPoEクライアント機能を搭載しました。

途切れない通信で快適

IP電話は、ゆらぎ吸収機能により途切れのない自然な通話を実現し、また、ネットワーク遅延状況に応じて、自然な会話を維持しながら遅延を回復します。

複数台のパソコンを同時につなげます

複数台のパソコンから同時にインターネット利用が可能です。

呼制御プロトコル

RFC3261 SIP準拠

UPnP、Unnumbered等各種ルータ機能搭載

設定については詳細取扱説明書をご覧ください。

NTTネットワークサービスに対応

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイ、Lモードなどに対応しています。

1

最初に確認しましょう

最初に必ずこの章を確認してください。

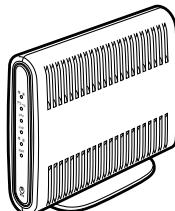
セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3

セットを確認してください

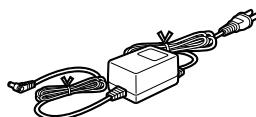
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

構成品

Web Caster V100
(1台)



電源アダプタ(1個)



電話機コード(1本)
(長さ:約2.1m、
色:白色)



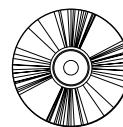
LANケーブル(1本)
(ストレート、長さ:
約1.5m、色:灰色)



取扱説明書(1部)



CD-ROM「Web
Caster V100専用
CD-ROM」(1枚)



IP電話サービスをご利用のお客様へ 、 (1部)

IP電話かんたん接続Bフレッツ編/IP電話かんたん接続フレッツ・ADSL編(1部)

インターネット・IP電話かんたん設定例(1部)

保証書(1枚)

アンケートはがき(1枚)

お客様にご用意いただくもの

- ・電話機 1、またはファクス 2
- ・電話機コード
- ・パソコン
- ・10BASE-Tまたは10/100BASE-T(推奨)に対応したLANカード 3

1 ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等には接続できません。

2 IP電話を用いてファクスやアナログモジュム通信の送受信を行うと失敗する場合があります。

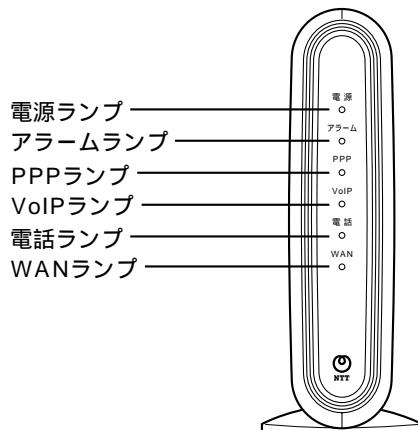
失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して利用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手の電話番号の前に「0000」(ゼロを4回)を付与して加入電話をご利用ください。

3 10BASE-Tもしくは、10/100BASE-T(推奨)に対応したLANインターフェースをパソコンが内蔵している場合は必要ありません。

各部の名前

Web Caster V100

前面図

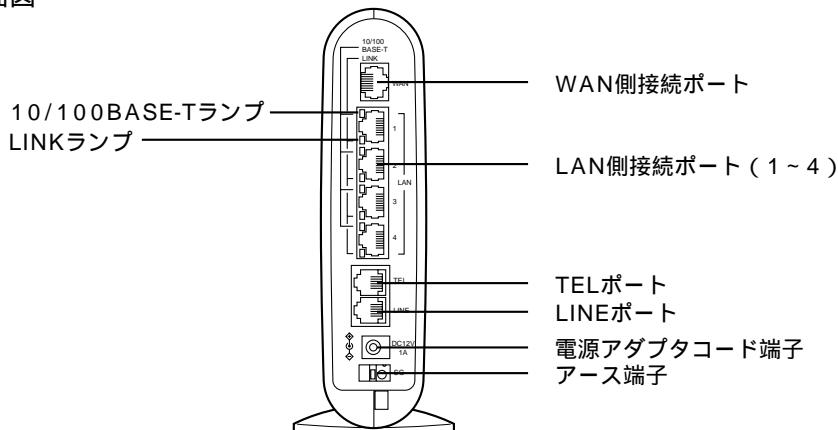


【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
電源ランプ	消灯	本商品に電源が入っていないとき
	点灯(緑)	本商品に電源が入っているとき
アラームランプ	消灯	正常な状態
	点灯(赤)	インターネットおよび、IP電話がご利用できない状態のとき
	点滅(赤)	その他の装置障害のとき
PPPランプ	消灯	オフライン状態のとき
	点灯(緑)	1セッション接続中
	点灯(橙)	2セッション接続中
	点滅(橙)	初期設定状態
VoIPランプ	消灯	IP電話がご利用できない状態のとき
	点灯(緑)	IP電話がご利用可能のとき
	点滅(緑)	IP電話で通話中
電話ランプ	消灯	加入電話がご利用できない状態のとき
	点灯(橙)	加入電話がご利用可能のとき
	点滅(橙)	加入電話で通話中
WANランプ	消灯	WAN回線がご利用できない状態のとき
	点灯(緑)	WAN回線がご利用可能のとき
	点滅(緑)	WAN回線でデータ通信中

各部の名前

背面図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
10/100BASE-T ランプ(4個)	消灯	10 Mbit/sでデータ送受信可能のとき
	点灯(緑)	100 Mbit/sでデータ送受信可能のとき
LINKランプ(4個)	消灯	LANがご利用できない状態のとき
	点灯(緑)	LANがご利用可能のとき
	点滅(緑)	LANでデータ通信中

WAN側接続ポート

イーサネットポートです。ADSLモデム等のLANポートと接続します。

LAN側接続ポート(1~4)

イーサネットポートです。パソコンのLANポートと接続します。

TELポート

電話ポートです。電話機と接続します。

LINEポート

電話ポートです。スプリッタのTELポート(電話を接続するポート「PHONE」、「TEL」等と記載)等に接続します。

電源アダプタコード端子

電源コネクタです。電源アダプタを接続します。

アース端子

接地用端子です。アースへ接続します。アースへの接続はお客様の任意です。(注)

(注)アースケーブルを接続する場合、線材はAWG18(銅線の断面積0.8 mm²相当)程度の軟銅線をご用意いただき、接続してください。

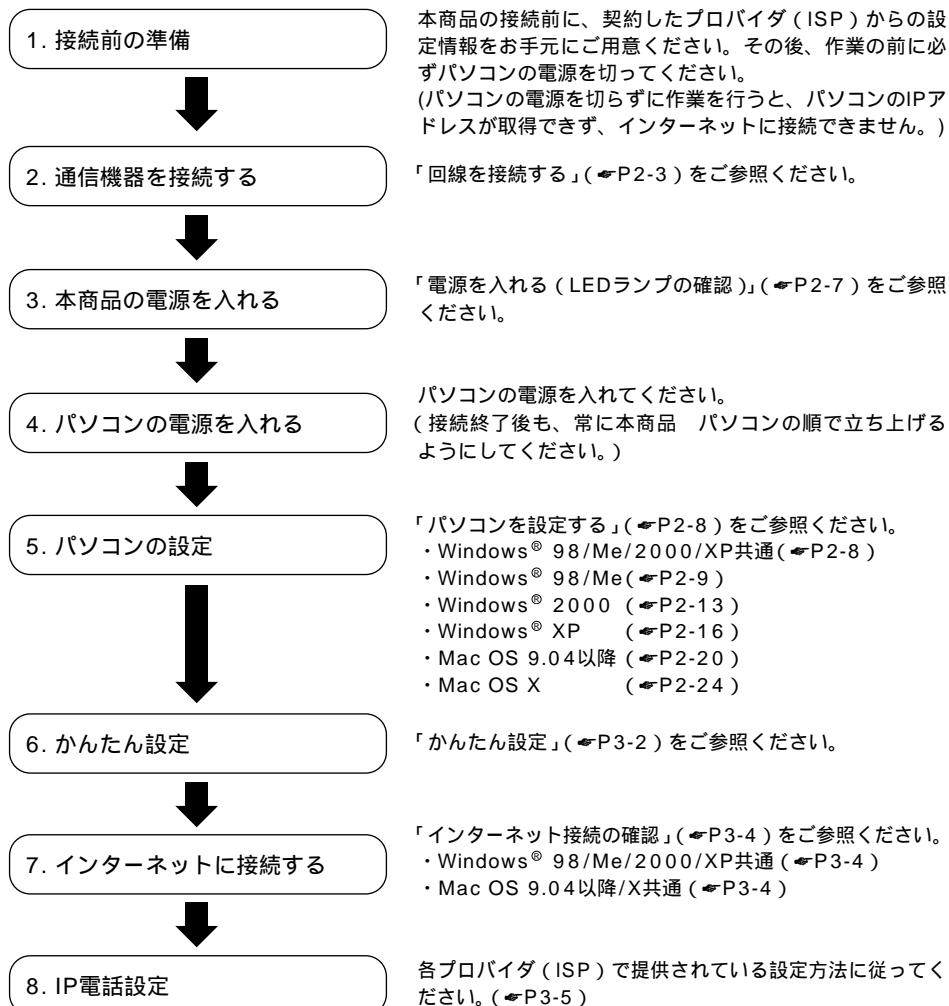
2 本商品の接続とパソコンの設定

本商品とパソコンを接続して、インターネットに接続する準備までを説明します。

セットアップする	2-2
回線を接続する	2-3
電源を入れる（LEDランプの確認）	2-7
パソコンを設定する	2-8

セットアップする

Web Caster V100とパソコンを接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れを示します。



△ 注意

上記のセットアップ手順は、本商品の設置時だけではなく、通常ご利用される際にもこの順序で行ってください。

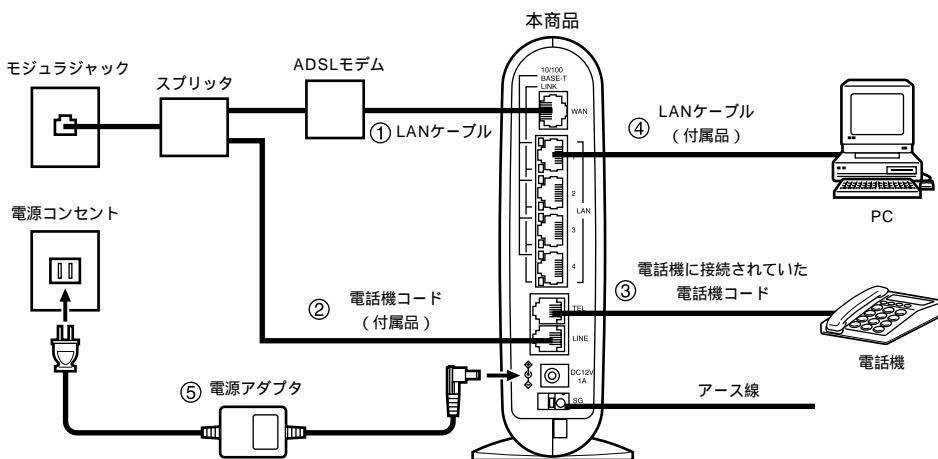
回線を接続する

△ 注意

パソコンの電源は切った状態で作業してください。(パソコンの電源を切らずに作業を行うと、パソコンのIPアドレスが取得できず、インターネットに接続できません。) 接続前に、パソコンでインターネットに接続できていることを確認してください。

フレッツ・ADSLに接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。



ADSLモデムと本商品を接続する

ADSLモデムの「10BASE-T」ポート（LANポート）と、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

ADSLモデムの設定方法は各ADSLモデムの説明書を参照してください。

STOP お願い

本商品とフレッツ・ADSLモデムの間にルータを接続したご使用はできません。

スプリッタと本商品を接続する

スプリッタのTELポート（電話機を接続するポート）と本商品のLINEポートを付属の電話機コードで接続します。

本商品と電話機を接続する

本商品のTELポートと、電話機をこれまで使っていた電話機コードで接続します。この状態で、本商品の電源を入れなくても、加入電話回線を通した通話が可能になります。電話機のハンドセットを取りあげて「ツー」という発信音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。

(次ページに続く)

回線を接続する

本商品とパソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコン（LANカード）をLANケーブルで接続します。
ストレートケーブル、クロスケーブルのどちらでも接続可能です。

本商品と電源アダプタを接続する

付属の電源アダプタのケーブルを本商品の電源アダプタコード端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

△ 注意

電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。

本商品の電源が入ります。

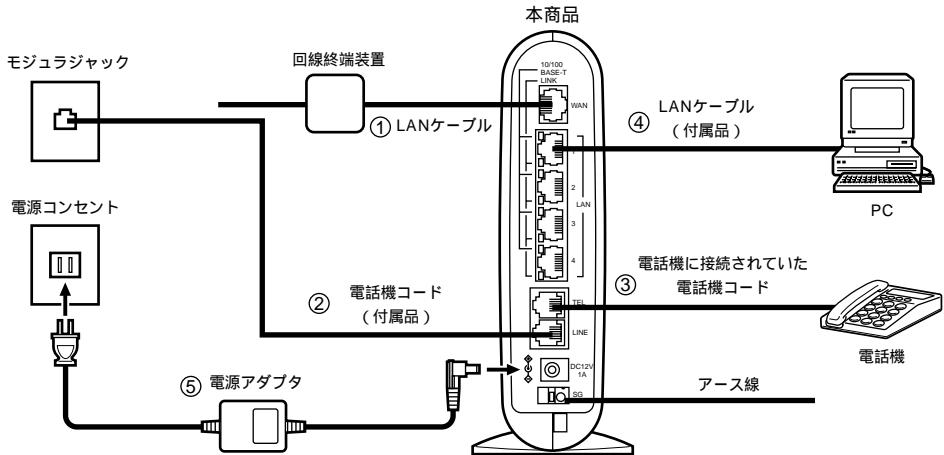
「電源を入れる（LEDランプの確認）」（☞P2-7）で、LEDランプの点灯状態により状態を確認してください。

△ 注意

差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに本商品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
雷雨の際は電話の使用を避けてください。落雷の危険性があります。
機器やケーブルは水で濡らさないように気をつけてください。

Bフレッツ(光ファイバー)に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。



回線終端装置と本商品を接続する

回線終端装置のポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

お願い

本商品と回線終端装置の間にルータを接続したご使用はできません。

モジュラジャックと本商品の接続

モジュラジャックと本商品のLINEポートを付属の電話機コードで接続します。

本商品と電話機の接続

本商品のTELポートと、電話機をこれまで使っていた電話機コードで接続します。この状態で、本商品の電源を入れなくても、加入電話回線を通した通話が可能になります。電話機のハンドセットを取りあげて「ツー」という発信音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。

本商品とパソコンの接続

本商品のLAN側接続ポートと、パソコン（LANカード）をLANケーブルで接続します。
ストレートケーブル、クロスケーブルのどちらでも接続可能です。

(次ページに続く)

回線を接続する

本商品と電源アダプタの接続

付属の電源アダプタのケーブルを本商品の電源アダプタコード端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

△ 注意

電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。

本商品の電源が入ります。

「電源を入れる（LEDランプの確認）」（☞P2-7）で、LEDランプの点灯状態により状態を確認してください。

△ 注意

Bフレッツに接続し電話機能を使用したい場合は、別途アナログ回線の契約が必要です。

△ 注意

差しこみ口が2つ以上ある壁の電源コンセントに本商品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

雷雨の際は電話の使用を避けてください。落雷の危険性があります。
機器やケーブルは水で濡らさないよう気をつけてください。

電源を入れる（LEDランプの確認）

本商品の電源を入れたとき

次のようにランプの状態が変化します。

ランプの種類	表示	
	起動中	起動完了（約20秒後）
電源ランプ	点灯（緑）	点灯（緑）
アラームランプ	点灯（赤）	消灯
PPPランプ	点灯（緑）	点滅（橙）
VoIPランプ	点灯（緑）	消灯
電話ランプ	点灯（橙）	消灯
WANランプ	点灯（緑）または点滅（緑）	点灯（緑）または点滅（緑）

電源ランプが緑点灯することを確認してください。

電源ランプが点灯しない場合は、コンセントに電源アダプタが繋がっていることを確認してください。また、本商品背面の電源アダプタコード端子に電源アダプタのプラグが完全に差し込まれていることを確認してください。

WANランプが緑点灯または点滅することを確認してください。

WANランプが点灯しない場合は、本商品裏面のWAN側接続ポートにLANケーブルが確実に接続されていること、およびADSLモデム等の電源が入っていることを確認してください。

アラームランプ：消灯、PPPランプ：橙点滅、VoIPランプ：消灯、電話ランプ：消灯を確認してください。

ご確認いただいたランプが、上記以外の状態になったときは、「回線を接続する」（☞P2-3）の手順をもう一度ご確認ください。

この時点ではIP電話回線を使用した通話をご利用できません。（従来の加入電話回線のご利用となります。）

パソコンの電源を入れたとき

「フレッツ・ADSLに接続する」（☞P2-3）または「Bフレッツに接続する」（☞P2-5）の電源を入れたあと、本商品のLAN側接続ポートに接続されているパソコンの電源を入れたとき、接続されているLAN側接続ポートにあるLINKランプが緑点灯することを確認してください。

LINKランプが緑点灯しない場合は、LAN側接続ポートにLANケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

パソコンを設定する

下記の手順に従って、パソコンを設定します。

Windows® 98/Me/2000/XP共通の設定

これまで通常のモデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していたパソコンをADSL接続に変更した場合は、インターネットの接続方法を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer6.0です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザの説明書を参照してください。

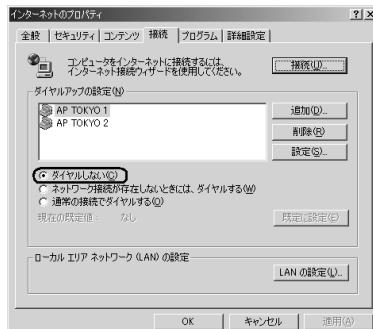
1 インターネットオプションを開く

- Windows® 98/Me/2000の場合
「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開き、「インターネットオプション」をクリックまたはダブルクリックして開きます。
- Windows® XPの場合
「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開き、「ネットワークとインターネット接続」を選択し、「インターネットオプション」をクリックして開きます。

2 「接続」で「ダイヤルしない」を選択する

「インターネットのプロパティ」が開いたら「接続」タブをクリックして画面を切り替えます。

「ダイヤルアップの設定」で、「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」を選択してください。



「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

3 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」のチェックボックスを確認し、「LANの設定」をクリックして「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を開く

自動設定のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」「自動設定のスクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外して「OK」をクリックしてください。

「プロキシ使用設定」のチェックを外す
「プロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外して「OK」をクリックしてください。



いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

最後に「OK」をクリックし「インターネットのプロパティ」を終了してください。

Internet Explorer5.5（サービスパック2）以上がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合には、雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、お客様にADSLなどの高速のインターネット環境が既にある場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードをすることも可能です。

「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了してください。（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerの説明書などをご参照ください。）

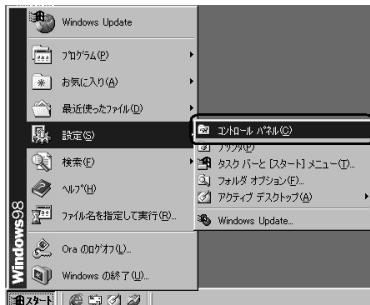
2 設定と本商品との接続

パソコンを設定する（Windows® 98/Meの場合）

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを開く

Windows® 98/Me を起動して「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」を選択して、コントロールパネルを開きます。



2 ネットワークのプロパティを開く

コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをクリックまたはダブルクリックをして開きます。



Windows® Meにおいて、コントロールパネルに「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」を選択してください。

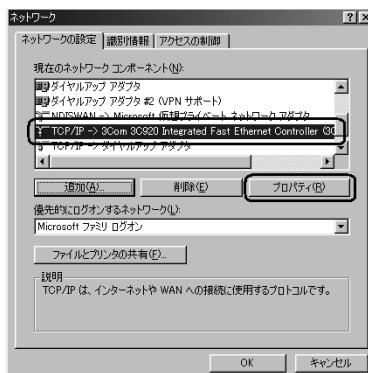
（次ページに続く）

パソコンを設定する

3

TCP/IPのプロパティを開く

「現在のネットワークコンポーネント」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という項目を選択し()「プロパティ」をクリックします。



一覧に「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これはADSLモデムのLANカードの設定とは無関係ですでの利用しません。

一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という該当の項目がない場合「追加」をクリックしてください。

「インストールするネットワークコンポーネント」の「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックしてください。

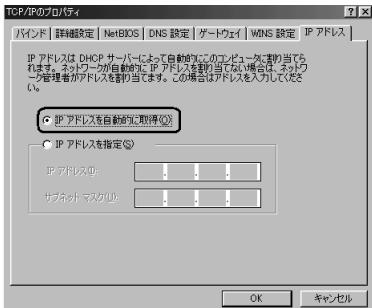
これで「現在のネットワークコンポーネント」一覧にTCP/IPが追加されます。



4

IPアドレスを設定する

「TCP/IPのプロパティ」が開いたら「IPアドレス」タブをクリックして、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。



5 DNSを設定する

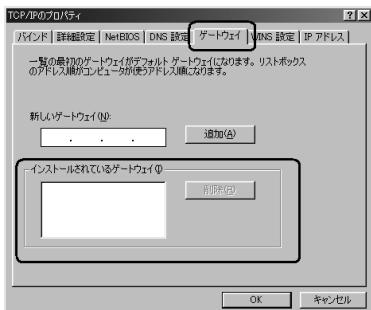
「DNS設定」タブをクリックして、「DNSを使わない」を選択します。



6 ゲートウェイを設定する

「ゲートウェイ」タブをクリックして、「インストールされているゲートウェイ」になにも登録されていないことを確認します。

この欄になにか登録されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから「削除」をクリックして削除してください。



7 「TCP/IP のプロパティ」を閉じる

IPアドレス、DNS設定、ゲートウェイを設定後、確認したら「OK」をクリックして「TCP/IPのプロパティ」を閉じます。

8 「ネットワークのプロパティ」を閉じる

「ネットワークのプロパティ」に戻り、「OK」をクリックします。

ご利用中のパソコンによってはWindowsのCD-ROMをセットするようメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

9 パソコンを再起動する

最後に「今すぐパソコンを再起動しますか?」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

パソコンを設定する

設定を確認する (Windows® 98/Meの場合)

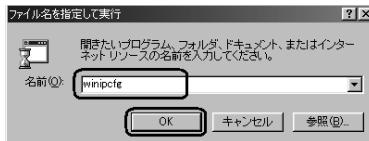
パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 98/Meでは「winipcfg」から確認することができます。

1 「winipcfg」を起動する

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択しクリックします。



「名前」の入力欄に「winipcfg」と入力し「OK」をクリックします。



2 IPアドレスを確認する

「winipcfg」が起動したら、IPアドレスが取得できているかどうか確認します。
「Ethernetアダプタ情報」が「PPP Adapter.」と表示されている場合は右端のプルダウンメニュー ▾ をクリックして現在ご利用しているLANカード名を選択し変更してください。



3 「winipcfg」を閉じる

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの欄に画面と同様の値が表示されていることを確認できたら、「OK」をクリックして「winipcfg」を閉じてください。

IPアドレスが「0.0.0.0」となっていたり「デフォルトゲートウェイ」が空白になっていたりする場合は、まず「解放」をクリックして次に「すべて書き換え」をクリックしてください。この操作でIPアドレスとゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。

IPアドレスやデフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

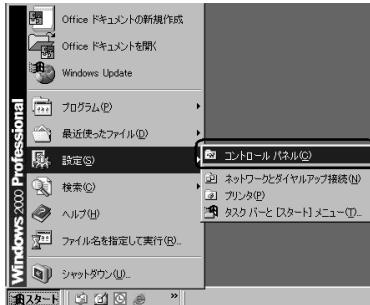


パソコンを設定する（Windows® 2000 の場合）

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを開く

Windows® 2000を起動して「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開きます。



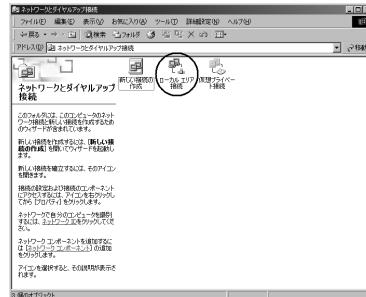
2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



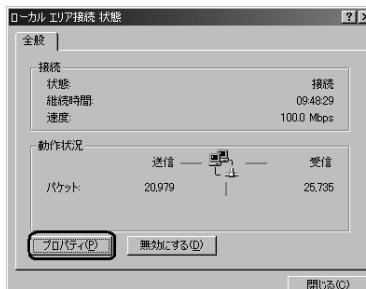
3 「ローカルエリア接続」を開く

「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」のアイコンをクリックまたはダブルクリックして開きます。



4 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く

「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ」をクリックします。



（次ページに続く）

パソコンを設定する

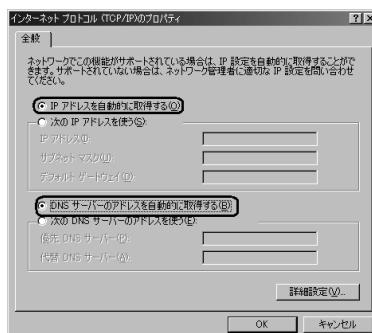
5 インターネットプロトコル(TCP/IP)の項目を選択し、プロパティを開く

「ローカルエリア接続のプロパティ」を開き一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックしてください。



6 IPアドレスとDNSを設定する

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が開いたら、「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。



IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックして「TCP/IP詳細設定」を開きます。

7 DHCP設定を確認する

「TCP/IP詳細設定」が開いたら「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。

「DHCP有効」となっていない場合、手順6の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度チェックをしてください。



8 IPアドレスの設定とDNSの設定を確認したら、「OK」をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じる

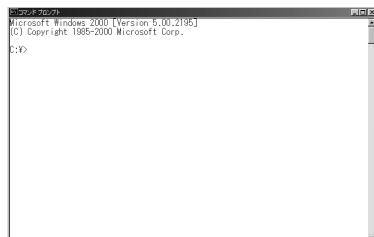
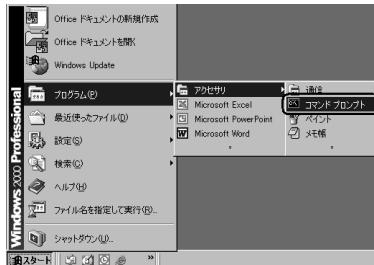
9 「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」をクリックして閉じる

設定を確認する（Windows® 2000の場合）

パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 2000ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する

- 「スタート」メニューから「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックしてください。



2 ipconfigコマンドを実行する

- コマンドプロンプトが開いたら、キー ボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力しEnterキーを押します。ipconfigコマンドを実行すると、

- IP Address
- Subnet Mask
- Default Gateway

の各情報が表示されます。画面と同様の値が表示されていることを確認してください。

2 設定と本商品との接続

```
C:\>ipconfig  
Windows 2000 IP Configuration  
  
Ethernet adapter ローカル エリア接続:  
  
Connection-specific DNS Suffix . :  
IP Address . . . . . : 192.168.1.2  
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0  
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1  
  
C:\>
```

IP AddressとDefault Gateway が正しく設定されていない場合は、半角英数文字で、「ipconfig /renew」と入力してください。

IP Address , Subnet Mask , Default Gateway の各情報が再度表示されます。各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

```
C:\>ipconfig /renew  
Windows 2000 IP Configuration  
  
Ethernet adapter ローカル エリア接続 2:  
  
Connection-specific DNS Suffix . :  
IP Address . . . . . : 192.168.1.2  
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0  
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1  
  
C:\>
```

パソコンを設定する

パソコンを設定する(Windows® XP の場合)

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを開く

Windows® XPを起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックしてコントロールパネルを開きます。



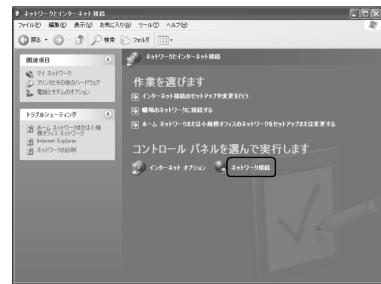
2 「ネットワークとインターネット接続」を開く

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



3 「ネットワーク接続」を開く

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。



4 「ローカルエリア接続」を開く

「LANまたは高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄には、PPPoE設定がされている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください。(例では、「マイISP」となっています。) 本商品を使いADSLなどに接続するときは利用しません。



5 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く

「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ」をクリックします。



6 インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを開く

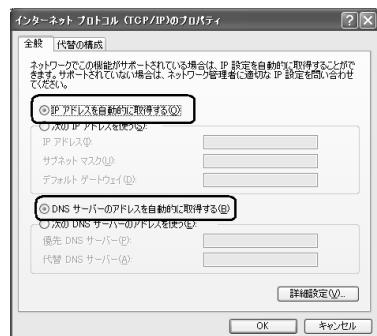
「ローカルエリア接続のプロパティ」を開き一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックしてください。



一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定する

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が開いたら、「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。



(次ページに続く)

パソコンを設定する

8

DHCP設定を確認する

IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックして「TCP/IP詳細設定」を開きます。

「TCP/IP詳細設定」が開いたら「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。

「DHCP有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度チェックをしてください。

**9**

IPアドレスの設定とDNSの設定を確認したら、「OK」をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を閉じる

10

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」をクリックして閉じる

設定を確認する（Windows® XP の場合）

パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® XP ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する

- 「スタート」メニューから「プログラム」
 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックしてください。



2 ipconfigコマンドを実行する

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力しEnterキーを押します。ipconfigコマンドを実行すると、

- IP Address
- Subnet Mask
- Default Gateway

の各情報が表示されます。画面と同様の値が表示されていることを確認してください。



IP AddressとDefault Gatewayが正しく設定されていない場合は、半角英数文字で「ipconfig /renew」と入力してください。

IP Address, Subnet Mask, Default Gatewayの各情報が再度表示されます。

各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

パソコンを設定する

パソコンを設定する（Mac OS 9.0.4以降の場合）

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 機能拡張フォルダを開く

本商品を利用するには、「Open Transport」のバージョンが2.6以上であることが必要です。ここでは、インストールされている「Open Transport」のバージョンの確認を行います。Mac OS 9.0.4以降を起動して、ハードディスクアイコンをダブルクリックします。「システムフォルダ」をダブルクリックして開き、「機能拡張」フォルダをダブルクリックします。



2 Open Transportの情報を確認する

「機能拡張」フォルダの中から「Open Transport」という書類をクリックし、メニューバーから「ファイル」「情報を見る」「一般情報」を選択します。



3 Open Transportのバージョンを確認する

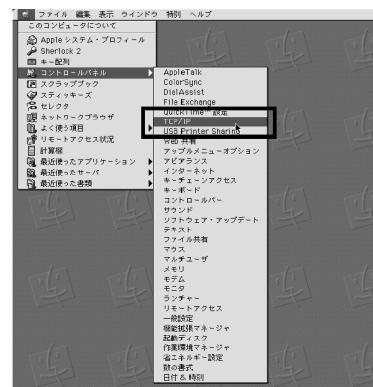
Open Transportのバージョンが2.6以上であることを確認します。確認が終わったらウィンドウを閉じます。



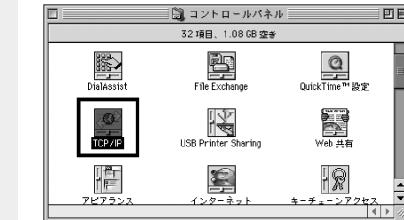
Open Transportのバージョンが2.6以上でなかつた場合は、アップルコンピュータのホームページでアップデータをダウンロードしてご利用ください。

4 コントロールパネルを開く

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」を選択して、「TCP/IP」設定ウィンドウを開きます。



「アップルメニュー」で「サブメニュー」の機能をオフにしている場合は、アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されてから「TCP/IP」をダブルクリックします。



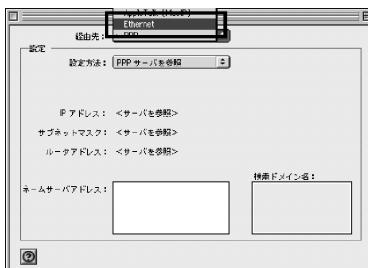
(次ページに続く)

パソコンを設定する

5

経由先を選択する

「TCP/IP」設定ウィンドウの「経由先」リストで、「Ethernet」を選択します。



6

設定方法を選択する

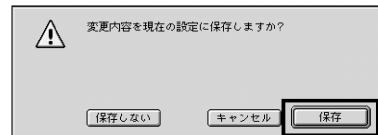
「TCP/IP」設定ウィンドウの「設定方法」リストより、「DHCPサーバーを参照」を選択します。



7

「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じる

ネットワークの設定が終了したら、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」というメッセージが表示された場合、「保存」をクリックします。



Internet Explorer5.1.6以上がインストールされていることをご確認ください。インストールをされていない場合には雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、お客様にADSLなどの高速のインターネット環境が既にある場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードすることも可能です。

「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

設定を確認する（Mac OS 9.0.4以降の場合）

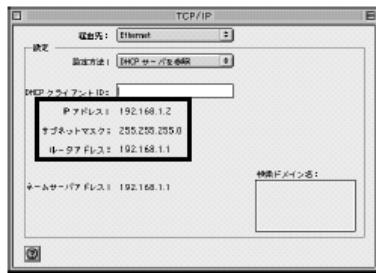
Mac OS 9.0.4以降でパソコン（LANカード）と本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 コントロールパネルを開く

「アップル」メニューから「コントロールパネル」、「TCP/IP」を選択して、「TCP/IP」設定ウィンドウを開きます。



2 ネットワークの設定を確認する



ネットワークの設定が設定前と変更されていることを確認します。確認する箇所は以下のとおりです。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・ルータアドレス

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

3 「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じる

ネットワークの設定が終了したら、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、「保存しない」をクリックします。

パソコンを設定する

パソコンを設定する（Mac OS Xの場合）

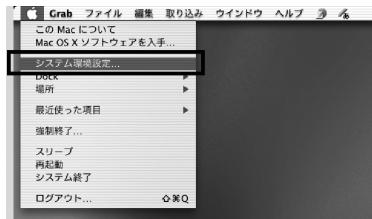
LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 システム環境設定を開く

Dock上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。



Mac OS Xの標準状態では、Dockに「システム環境設定」のアイコンが登録されています。Dockから削除してしまった場合は、「アップル」メニューから「システム環境設定」を選択します。



2 ネットワークの設定項目を開く

「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



3 ネットワークの種類を選択する

「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します。



4 「TCP/IP」を設定する

「TCP/IP」タブをクリックし、TCP/IPの設定画面を表示します。設定内容が以下のようになっていることを確認します。

- ・「設定」: 「DHCPサーバを参照」
- ・「DHCPクライアントID」: 空白
- ・「ドメインネームサーバ」: 空白
- ・「検索ドメイン」: 空白



5 「PPPoE」のチェックを外す

「PPPoE」タブをクリックし、PPPoEの設定画面を表示します。本商品はPPPoEを利用しないので、チェックがついている場合は外します。



6 「AppleTalk」のチェックを外す

「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalkの設定画面を表示します。「AppleTalk使用」にチェックがついている場合は外します。



7 プロキシを設定する

「プロキシ」タブをクリックし、プロキシの設定画面を表示します。ここでチェックがついている場合は、すべて外します。



8 ネットワーク設定を保存する

ネットワークの設定が終了し、変更した部分があった場合は、右下の「保存」をクリックします。また、「保存」を押さないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか？」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。



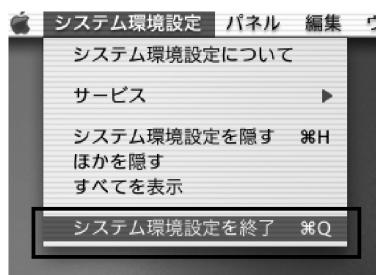
(次ページに続く)

パソコンを設定する

9

「システム環境設定」を終了する

メニューバーの「システム環境設定」
「システム環境設定を終了」を選択して終了します。



Internet Explorer5.2.2以上がインストールされていることをご確認ください。インストールをされていない場合には雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、お客様にADSLなどの高速のインターネット環境が既にある場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードすることも可能です。

「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

設定を確認する（Mac OS Xの場合）

Mac OS Xでパソコン（LANカード）と本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 システム環境設定を開く

Dock上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。「システム環境設定」ウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



2 ネットワークの種類を選択する

「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します。



3 「TCP/IP」を確認する

「TCP/IP」タブをクリックしてTCP/IPの設定画面を表示し、IPアドレスが割り当てられていることを確認します。



4 システム環境設定を終了する

メニューバーの「システム環境設定」「システム環境設定を終了」を選択して終了します。

3 本商品の設定方法

本商品と接続したパソコンから、インターネットに接続するまでの説明します。インターネットの接続設定は、お使いの環境によって異なります。

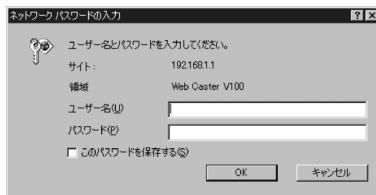
かんたん設定	3-2
インターネット接続の確認	3-4
IP電話の設定	3-5

かんたん設定

Webブラウザの起動

1 Webブラウザを起動する

Webブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://192.168.1.1>」を入力し、「ENTER」キーを押してください。
ネットワークパスワード入力画面からユーザ名（admin）、パスワードを入力してください。（パスワードはお客様で変更して使用してください。最初はadminになっています。）



初期設定画面「かんたん設定」が表示されます。

(注)ブラウザのヒストリ機能（「戻る」、「進む」ボタン）は使用しないでください。ブラウザのヒストリ機能を使用した場合の動作は保証しません。



2 「かんたん設定」による設定をする

下表の項目を半角英数字で入力してください。（設定内容は、契約したプロバイダ（ISP）から送付された設定情報を確認してください。）

入力項目	入力／選択する内容（例）	説明
インターネットサービスプロバイダ設定	ログインID a00000000@bbb.ccc.ne.jp	「プロバイダのログインID」を入力してください。
	ログインパスワード Password	「プロバイダのログインパスワード」を入力してください。
	ログインパスワード確認 確認	「ログインパスワード」を再入力します。
ナンバー・ディスプレイ	ブルダウンメニューからあり／なしを選択してください。	ナンバー・ディスプレイ対応電話機またはファックスを接続する場合は「あり」を選択してください。 (加入電話回線経由でご利用される場合は当社のナンバー・ディスプレイサービスへの契約が必要です。)
キャッチホン	ブルダウンメニューからあり／なしを選択してください。	当社のキャッチホンに契約されているお客様は「あり」を選択してください。

3 「確認」をクリックする

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックする

5 「反映」をクリックする

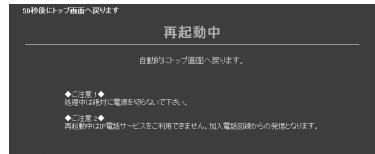
(注)通話中にクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面を表示しますので「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。



6 ワンポイント

Lモードサービスを使用するお客様は
「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定してください。
(当社のLモードサービスへの契約が必要です。)

6 実行中は以下の画面が表示されるので、しばらく待つ



(注) この間、本商品の電源をOFFにしないでください。

7 再起動が終了すると「かんたん設定」画面に戻る

(注) この時、本商品のアラームランプが赤点滅、PPPランプが消灯している場合はかんたん設定の入力項目に誤りがあります。Webブラウザを閉じて最初からやり直してください。

インターネット接続の確認

Windows® の場合(98/Me/2000/XP 共通)

Internet Explorerの「アドレス」欄に「<http://www.ntt.co.jp/>」とURLを入力して「移動」をクリックし、下記のようなホームページが表示されたら本商品は正常に動作しています。



Mac OSの場合(9.0.4以降/X 共通)

Internet Explorerのアドレス欄に「<http://www.ntt.co.jp/>」とURLを入力し、「移動」をクリックし、上記のようなホームページが表示されたら本商品は正常に動作しています。

お知らせ

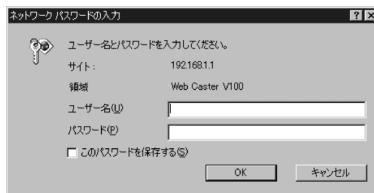
Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了してください。(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerの説明書などをご参照ください。)

IP電話の設定

IP電話の設定方法は、各プロバイダのサービスにより異なります。ご契約のプロバイダのIP電話設定方法をご確認の上、設定を行ってください。設定でご不明な点は、ご契約の各プロバイダへお問い合わせください。

1 各プロバイダ（ISP）で提供されている設定方法に従う

(注) 設定時にネットワークパスワード入力画面が表示される場合があります。ユーザ名（admin）、パスワードを入力してください。



2 設定終了で「IP電話登録完了」画面が表示される



(注) 登録を失敗した場合は以下の画面を表示します。「戻る」をクリック後、内容を確認し、正しい値を入力してください。



3 メニュー内の「反映」をクリックする

(注) 通話中にボタンをクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面を表示しますので「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。



実行中は以下の画面を表示しますので、しばらくお待ちください。



(注) この間、本商品の電源をOFFにしないでください。

(注) この時、本商品のアラームランプが赤点滅、PPPランプが消灯している場合は、IP電話設定入力項目に誤りがあります。Webブラウザを閉じ、最初からやり直してください。

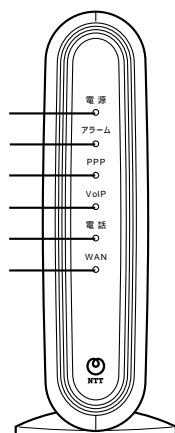
4 再起動が終了すると「かんたん設定」画面に戻る。画面右上の×

(次ページに続く)

5

設定の確認をする

設定終了後、本商品のランプが以下のような表示になることを確認してください。



ランプの種類	ランプのつき方(色)
電源ランプ	点灯(緑)
アラームランプ	消灯
PPPランプ	点灯(緑) または点灯(橙) 点灯(橙)の場合 は、2セッション 接続中
VoIPランプ	点灯(緑)
電話ランプ	点灯(橙)
WANランプ	点灯(緑) または点滅(緑)

4 電話の使いかた

本商品と接続した電話機の使用方法を説明します。

電話をかけるには（発信）	4-2
電話を受けるには（着信）	4-3
回線選択について / 緊急ダイヤル	4-4
お話し中にかかってきた電話を 受けるには	4-5
発信者番号の通知と表示	4-6
一般回線からの電話番号も 表示するには (ナンバー・ディスプレイ)	4-7

電話をかけるには（発信）

本商品に電話機を接続して相手の方と通話することができます。

電話をかける（発信）

- 1** 電話機（またはファクス）のハンドセットを取りあげる
「ツー」という発信音が聞こえます。



- 2** 電話番号を押す



- 3** 呼出音が聞こえる
4 相手の方がお話しする



- 5** お話し終わったら、ハンドセットを置く



ワンポイント

IP電話サービスをご利用となった場合は

呼出音の前に「ブッブッブッ」という断続音が約1秒聞こえます。

IP電話サービス提供外の番号へ発信した場合は

加入電話へ自動的に再発信します。このとき「ブッブッブッ」いう断続音のあと、「ブー」という音が聞こえます。

相手がお話し中のとき

- 1** 電話機（またはファクス）のハンドセットを取りあげる
「ツー」という発信音が聞こえます。



- 2** 電話番号を押す



- 3** 「ツーツーツー」という音が聞こえる

- 4** ハンドセットを置いて、しばらくたってからかけ直す

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

1 着信音が鳴る



2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする



3 お話し終わったら、ハンドセットを置く



ワンポイント

相手先がIP電話サービスをご利用の場合と従来の加入電話回線をご利用になった場合では着信音が次のとおり違います。

- ・従来の加入電話回線をご利用の場合
「ブルルルー」という着信音が鳴ります。
- ・IP電話サービスをご利用の場合
「ブルルルップルルッ」という着信音が鳴ります。



お知らせ

加入電話回線で「なりわけサービス」、「空いたらお知らせ159」などに契約されている場合、IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。

回線選択について / 緊急ダイヤル

電話番号による回線選択

通常はIP電話サービスをご利用になれます BUT、一部IP電話サービスをご利用できない電話番号（「加入電話回線を選択する電話番号」（☞P6-4）を参照してください）については加入電話回線を選択して発信します。

加入電話回線を選択して発信するには

加入電話回線を選択してご利用になりたい場合

- | | |
|---|---|
| 1
電話機（またはファクス）のハンドセットを取りあげる
「ツー」という発信音が聞こえます。 | 3
呼出音が聞こえる |
| 2
「0000」のあとに電話番号を押す
 | 4
相手の方が出たらお話しする |
| |  |
| | 5
お話し終わったら、ハンドセットを置く |



ワンポイント

マイライン(マイラインプラス)をご利用になる場合は、電話番号の先頭に「0000」(ゼロを4回)付けてから、通常の発信方法で発信してください。この場合、通話料金はマイライン(マイラインプラス)に登録している電話会社から請求されます。

緊急ダイヤル（110/118/119）発信時の留意事項

緊急時は110/118/119を押し警察、消防へ連絡することができます。

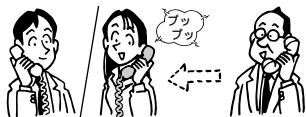
(注1)ハンドセットを置いてもしばらくIP電話サービスをご利用できない場合があります。

お話し中にかかってきた電話を受けるには

お話し中にかかってきた電話に出る

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

- 1** お話し中に「ブッブッ……」と
いう着信音が聞こえる



- 3** あとからかけてきた方とお話しする



- 2** 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は終了します。



当社のキャッチホンサービスをご利用の方

お話し中に加入者電話回線からの呼び出しに応答することができます。

以下の条件で本機能がご使用になれます。

IP電話サービスご利用によるお話し中に加入電話回線から呼び出しがあった場合

加入電話回線ご利用中によるお話し中に加入電話回線から呼び出しがあった場合

この場合は当社のキャッチホンサービスと動作は同じになります。

(注1)キャッチホンを「あり」に設定してください。

(「かんたん設定」(☞P3-2)を参照してください。)

当社のキャッチホンサービスをご利用していない方

お話し中にIP電話サービスからの呼び出しに応答することができます。

以下の条件で本機能がご使用になれます。

IP電話サービスご利用によるお話し中に加入電話回線から呼び出しがあった場合

加入電話回線ご利用中によるお話し中にIP電話サービスから呼び出しがあった場合

ワンポイント

割込音は「あり」に設定されています。不要な場合は、詳細取扱説明書「サービス設定」を参照してください。

発信者番号の通知と表示

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。

通知される電話番号

IP電話どうしの通信では、IP電話番号が通知されます。加入電話で発信した場合は加入電話番号が通知されます。

電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、加入電話回線ご契約時の内容、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	ダイヤル操作		
	相手番号 (通常の操作)	184 + 相手番号	186 + 相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)		×	
通常非通知 (回線ごと非通知)	×	×	

：通知する

×：通知しない



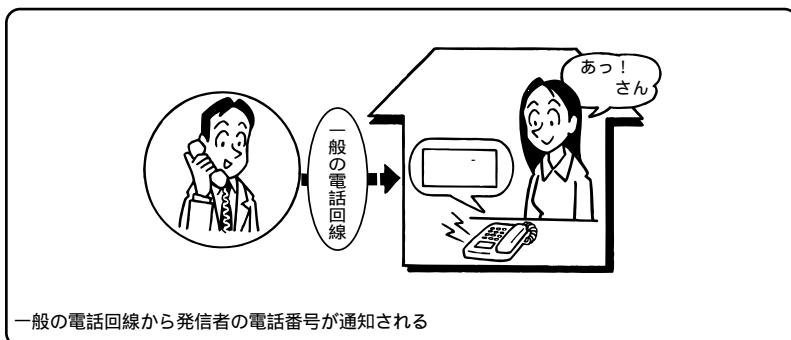
お知らせ

発信者番号通知ダイヤル（186）を使用して相手先へダイヤルした場合、加入電話回線を使用し、このときは加入電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示するには（ナンバー・ディスプレイ）

一般的な電話回線から着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファックスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



必要な契約

ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。

必要な設定

TELポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファックスを接続します。
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイ対応電話機またはファックスを接続する場合は、「かんたん設定」の「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定してください。



お知らせ

ナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

5 お困りのときには

Web Caster V100がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときは本章をお読みください。

トラブルシューティング 5-2

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化して、
初めから設定し直してください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されま
すのでご注意ください。初期化を行う場合は現在の設定内容を保存しておくことをお
勧めします。初期化の方法については、詳細取扱説明書「再起動」を参照してください。

設定に関するトラブル

症 状	原因と対策
PPPランプが消灯している (オフライン中)	「ログインID」、「ログインパスワード」が指定された内容であるか確認してください。間違っている場合は再設定してください。(「本商品の設定方法」(☞P3-2))
VoIPランプが消灯している (IP電話回線利用不可)	「ログインID」、「ログインパスワード」が指定した内容であるか確認してください。間違っている場合は再設定してください。(「本商品の設定方法」(☞P3-2))または、「IP電話の設 定」(☞P3-5)を再度実施してください。

通話/ダイヤルに関するトラブル

症 状	原因と対策
ハンドセットを取りあげても発信音 が聞こえない	本商品と電話機を接続している電話機コードを含め機器の接 続構成を確認してください。(「回線を接続する」(☞P2-3))
電話機からダイヤルしても発信音が 停止しない	電話機の設定が加入電話回線契約(DP(ダイヤルパルス 指定)/PB(プッシュボン信号指定))と一致しているか 確認してください。一致していないときは電話機の設定を 変更してください。 Web保守画面の「状態表示」をクリックし、「加入電話回線 種別」が加入電話回線の契約と一致しているか確認してく ださい。一致していない場合はWeb保守画面の「カスタム 設定」のメニュー「サービス設定」を選択し「加入電話回 線種別」を変更してください。 (詳細取扱説明書「サービス設定」および「状態表示」を参照 してください。)
相手先が応答しない	相手先の電話番号を確認してください。 Web保守画面の「保守」メニュー「IP電話設定情報」をク リックし、「市外局番」が正しい番号か確認してください。 間違っている場合はIP電話の設定をやり直してください。 (詳細取扱説明書「IP電話設定情報」および「IP電話の設定」 (☞P3-5))

症 状	原因と対策
IP電話回線が利用できない (「VoIP」ランプが点滅しない)	加入電話回線を選択する電話番号をダイヤルしている場合があります。(電話ランプが橙点滅します。) 電話番号をご確認ください。「加入電話回線を選択する電話番号」(☞P6-4))緊急通話(110/118/119)にダイヤルした場合は本商品側の電話機がハンドセットを置いても通話は終了しません。(相手先が通話を終了するまで継続します。)緊急通話が終了するまでお待ちください。 本商品がIP電話サービスをご利用いただけない状態になっている可能性があります。本商品の電源を入れ直してください。

パソコンに関するトラブル

症 状	原因と対策
パソコンからインターネットへアクセスできない	パソコンにIPアドレスが設定されているか確認してください。「パソコンを設定する」(☞P2-8)) Pingをパソコン側に送信し通信の正常性を確認してください。(詳細取扱説明書「Ping送信」)
パソコンからインターネットへアクセスできない(WANランプが消灯している)	本商品とADSLモデム等との接続構成および、接続しているLANケーブルの種類を確認してください。「回線を接続する」(☞P2-3))
パソコンを接続したイーサネットポートのLINKランプが消灯している	「回線を接続する」(☞P2-3)を参照して、LANの接続を確認し接続をやり直してください。 接続に問題がなければ、LANカードが正しく動作しているか確認してください。なお、LANカードについてのトラブルは、パソコンあるいはLANカードのメーカーにご相談ください。

その他のトラブル

症 状	原因と対策
電源アダプタのコンセントを差し込んだのに本商品の電源ランプが緑点灯しない	アダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。
アラームランプが点灯する	本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。

(注) 上記対策を実施しても問題が解決しない場合、上記問題以外のトラブルが発生した場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。

6 付 録

仕様	6-2
本商品を扱ううえでの注意事項	6-3
索引	6-6
お買い上げ商品の保証および 保守サービスのご案内.....	6-7

仕様

Web Caster V100

仕様一覧

項目	仕様	記事
WANインターフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X1ポート (RJ45)	
LANインターフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X4ポート (RJ45)	
電話機インターフェース	収容回線数：1回線 (RJ11)	
加入電話インターフェース	収容回線数：1回線 (RJ11) 技術基準適合 (アナログ電話回線)	
使用電源	AC100 V ± 10% 50/60 Hz	
消費電力	最大12 W	
外形寸法 (mm)	約72.0 (W) × 192.0 (D) × 177.0 (H)	突起部を除く
質量	約550 g	商品本体のみ
動作環境	温度：0 ~ 40 湿度：20 ~ 85 %	結露しないこと
EMI	VCCI クラスB	

本商品を扱ううえでの注意事項

NTTネットワークサービスへの対応について

本商品を収容するとご契約されているNTTネットワークサービスについて一部、制約事項が生じます。

詳細は以下の表を参照してください。

NTTネットワークサービスとの組み合わせ

サービス名	対応可否	制限事項
オフトーク通信サービス		宅内装置をIP電話対応機器と単体電話機の間に接続した場合は動作しませんが、スプリッタとIP電話対応機器の間に接続した場合は動作します
トリオホン	×	
短縮ダイヤル		「0000」を付与してダイヤルすれば可能です
キヤッチホン		
キヤッチホン		メッセージ有りの通知が動作しません
転送でんわ		解除忘れ警告音が鳴らない可能性があります
ボイスワープ/ボイスワープセレクト	×	解除忘れ警告音が鳴らない可能性があります 通話中にフッキングしても転送できないことがあります
#ダイヤル		
二重番号サービス		
なりわけサービス		IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります
モデムダイヤルイン	×	
PBダイヤルイン	×	
ナンバー・ディスプレイ		IP電話中の着信の場合、発信者番号情報が通知されません
ネーム・ディスプレイ		IP電話中の着信の場合、発信者番号情報が通知されません
キヤッチホンディスプレイ		IP電話中の着信の場合、発信者番号情報が通知されません
ボイスボックス		
マジックボックス		メッセージ有りの通知が動作しません
迷惑電話おことわりサービス		
Lモード		

×：動作しない : 動作上不都合が生じる : 動作上問題なし

本商品を扱ううえでの注意事項

加入電話回線を選択する電話番号

加入電話回線を利用する電話番号は以下のとおりです。

分類	番号	項目
緊急	110	警察
	119	消防
	118	海上
サービス	100	100番通話
	106	コレクトコール(コミュニケーション扱い)
	108	自動コレクトコール
	107	新幹線列車通話
	117	時報
	177	天気予報
	171	災害用伝言ダイヤル
	122	固定優先接続機能解除 1
	186	発信者番号通知 1
受付	104	番号案内
	115	電報申込
	113	故障受付
	114	お話し中調べ
	116	注文受付
	14X	ボイスワープ設定用番号など
	136	ナンバー・アナウンス/ナンバーお知らせ136
	156	空いたらお知らせ156
	121	クレジット通話 1

1: 番号入力後、続けて番号入力のあるもの

その他の注意事項

下記のような場合には、IP電話の通話品質が劣化したり、ファクス通信が困難な場合があります。

- ・ADSL回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
- ・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
- ・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

本商品に接続している電話機のACR等の機能が動作している場合

IP電話が使用できない場合があります。ACR等の機能によって、加入電話を利用した場合には、通信に対して利用料金がかかります。必ず、電話機のACR等の機能は、停止させてください。

停電時および、本商品の電源offの場合

IP電話をご利用になれません。また、IP電話による通話中に停電および、本商品の電源がoffになると、通話が切断されます。

本商品に加入電話回線が接続されていない場合

加入電話回線が接続されているかどうかは電話ランプで確認できます。また、加入電話回線が接続されていない状態で加入電話発信を行うと「ブブッ、ブブッ、ブブッ、ブブッ」という音が聞こえます。

本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品が上手く動作しない場合、今までとは違う回線に接続し直す場合、または設定を間違えた場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値は全て消去され、初期状態に戻りますのでご注意ください。(IP電話に関する設定もすべて消去されてしまいますので、設定をやり直してください。) 本商品の初期化には、2種類の方法があります。

Webブラウザによる初期化

本商品に設定した情報がすべて失われ、初期状態になります。(障害ログ、通話ログも消去されます。) 初期化直前の状態に戻すことはできません。再度ご使用になる場合は、設定をしていただくようお願いします。(詳細取扱説明書「再起動」を参照してください。)

RESETスイッチによる初期化

パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合はWebブラウザによる初期化ができません。RESETスイッチによる初期化を実施するとログインパスワード、LAN側IPアドレスは一旦初期状態に戻りますので、Webブラウザから本商品へのアクセスは可能になります。RESETスイッチによる初期化は一時的なものなのでWebブラウザから初期化を実施してください。

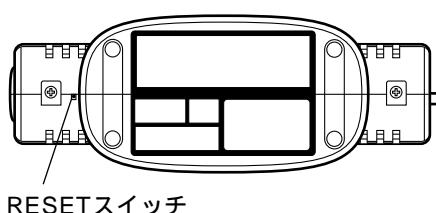
RESETスイッチによる初期化状態は電源再投入で初期化直前の状態に戻すことができます。

(初期化方法)

本商品底面にある、RESETスイッチを押しながら電源を入れ、PPPランプが橙(点滅)になるまで押し続けてください。

起動後、PPPランプが橙(点滅)になれば、初期化完了です。

本商品 底面図



索引

アルファベット

10/100BASE-Tランプ	1-4
10BASE-T	2-3, 6-2
100BASE-TX	6-2
Bフレッツ（光ファイバー）と接続	2-5
CD-ROM	12
DHCP設定	2-14, 2-18
DNS	2-11, 2-14, 2-17
ipconfigコマンド	2-15, 2-19
IPアドレス	2-10, 2-12, 2-14, 2-17
IP電話回線	2-7
LANカード	1-2
LAN側接続ポート	1-4
LANケーブル	2-3
LANポート	1-4
LEDランプの確認	2-7
LINEポート	1-4
LINKランプ	1-4
Ping	5-3
PPPoE	2-17, 2-25
PPPランプ	1-3, 2-7, 3-6
TCP/IP	2-10, 2-14, 2-17, 2-24, 2-27
TELポート	1-4
VoIPランプ	1-3, 2-7, 3-6
WAN側接続ポート	1-4
WANランプ	1-3, 2-7, 3-6
winipcfg	2-12

五十音

【ア行】	
アースケーブル	1-4
アース端子	1-4
アラームランプ	1-3, 2-7, 3-6
インターネット	2-8, 3-4
インターネットサービスプロバイダ設定	3-2

【カ行】

回線を接続する	2-3
加入電話回線を選択	4-4
キャッチホン	4-5
緊急ダイヤル	4-4
ゲートウェイ	2-11

【サ行】

サブネットマスク	2-23
仕様	6-2
初期化	6-5
スプリッタ	2-3
セットアップする	2-2

【タ行】

デフォルトゲートウェイ	2-12
電源アダプタ	1-2, 2-4, 2-6
電源アダプタコード端子	1-4
電源ランプ	1-3, 2-7, 3-6
点灯しない場合	2-7

電話

相手がお話し中のとき	4-2
電話を受けるには	4-3
電話をかけるには	4-2
電話機コード	1-2, 2-3, 2-5
電話番号による回線選択	4-4
電話ランプ	1-3, 2-7, 3-6
トラブルシューティング	5-2

【ナ行】

ナンバー・ディスプレイ	4-7
ネットワーク設定	2-24

【ハ行】

パソコンと接続	2-4, 2-5
パソコンの設定を確認する	

Mac OS 9.0.4 以降の場合	2-23
Mac OS X の場合	2-27
Windows® 2000 の場合	2-15
Windows® 98/Me の場合	2-12
Windows® XP の場合	2-19

パソコンを設定する

Mac OS 9.0.4 以降の場合	2-20
Mac OS X の場合	2-24
Windows® 2000 の場合	2-13
Windows® 98/Me の場合	2-9
Windows® XP の場合	2-16

フッキング

フレッツ・ADSLモデムと接続	2-3
-----------------	-----

【ラ行】

ランプ表示	1-3, 1-4
利用中電話サービス	3-2
ログインID	3-2
ログインパスワード	3-2

お買い上げ商品の保証および 保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

注 意

本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。

本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

☎ 0120 - 275466 (24時間 年中無休)

故障に関するお問い合わせ

☎ 0120 - 242751 (24時間 年中無休)

故障修理等の対応時間は平日9：00～17：00、

土・日・祝日および年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

本端末機器の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120 - 710444

(受付時間 平日9：00～17：00)

NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
故障に関するお問い合わせ

☎ 0120 - 248995

本端末機器の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120 - 109217

(受付時間 平日9：00～17：00)

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2003 NTEAST・NTTWEST

本2404-2(2003.7)
WBC V100トリセツ

3PP1158-5446P001 Rev1.2

